

CSR REPORT 2007

CORPORATE SOCIAL RESPONSIBILITY
ETHICS COMPLIANCE
SAFETY HEALTH
ENVIRONMENT
QUALITY



AOI NEON Co., Ltd.

企業概要

社名 アオイネオン株式会社
 創業 昭和26年8月
 設立 昭和32年1月
 資本金 5,750万円
 従業員数 79名 (男子63名・女子16名)
 代表取締役社長 横山 巖
 工場 静岡工場 東京工場 浜松工場
 静岡本社 〒422-8076
 静岡市駿河区八幡2-11-11
 TEL 053-282-1221
 東京本社 〒146-0082
 東京都大田区池上3-6-16
 TEL 03-3754-2111
 浜松支店 〒438-0221
 磐田市南平松10-7
 TEL 0538-66-0801
 大阪支店 〒541-0057
 大阪市中央区北久宝寺町4-3-5 3F
 TEL 06-6281-3621
 業務内容 ネオン・広告塔・館内サイン
 企画・設計・施工・検査診断



静岡本社・工場



東京本社・工場



浜松支店・工場



大阪支店 (本町サミットビル3F)

トピックス

ISO9001認証取得 (東京・静岡・浜松)

2007年10月23日に国際的な品質マネジメントシステムである「品質ISO9001」の認証を取得しました。弊社は今後とも「製品の質」に加え「顧客満足」を重要視した「組織の質」の向上を目指し、お客様に一層ご満足いただける製品・サービスの提供に努めて参ります。



▲認証授与式



登録番号：00283
 認証範囲：サインボード並びにそれに付随する銘板の設計、建設、据付、メンテナンス及びサインボードの検査、診断業務
 審査機関：ムーディー・インターナショナル・サーティフィケーション(株)
 認定期間：UKAS (英国認証機関認定審議会)

CSRレポート発行について

本レポートは、当社のCSR全般についての考え方や具体的な取り組みをステークホルダーの皆様にはわかりやすく開示するための報告書であり、2003年度に第1号を発行し、以後毎年度継続的に発行するものです。

- アオイネオンのCSRをご理解いただくために、CSRの考え方を明確に表現するとともに、出来る限り各項目ごとに方針(ポリシー)を記述し、取り組み事例を掲載しました。
- CSR活動をより具体的な形で開示するため、従業員のインタビューを掲載しました。

- ①対象読者
お客様、従業員、お取引先、株主、地域社会など、様々なステークホルダーの皆様。
- ②レポート対象範囲
アオイネオン(株)の全拠点(ただし、全項目について全事業所を網羅するわけではなく、テーマに基づいて代表的な事例を掲載しています。数値データにはそれぞれの対象範囲を記載しています)
- ③レポート対象期間
2006年度(2006年8月1日~2007年7月31日)とし、一部トピックスについては、それ以降の活動も掲載しています。
- ④発行時期
2007年12月(次回2008年12月予定)
- ⑤参考としたガイドライン
環境省「環境報告書ガイドライン」
環境省「環境会計ガイドライン」
GRI「持続可能性報告のガイドライン」
- ⑥WEBサイトへの掲載
アオイネオンホームページでも本レポートの全内容を掲載するなど、積極的に開示を行います。
<http://www.aoineon.com>

トップメッセージ	3
企業理念とCSR	4
コンプライアンス	
社員一人ひとりに対するコンプライアンスの徹底	5
報告、相談への対応	5
コンプライアンス方針(倫理・法令順守)	6
社会性報告	
違法広告物共同除却活動への参加	7
小さな親切運動への参加	8
チーム-6%への参加	8
環境保全活動	
アオイネオン環境方針	9
組織体制・ISO14001認証	9
環境保全活動	10
CO ₂ 排出量推移・エネルギー別内訳	10
環境目標に対する実績	11
環境会計報告	12
品質マネジメント	
アオイネオンの品質方針	13
組織体制・ISO9001認証	13
製品検査・施工検査・メンテナンス	14
労働安全衛生活動	
安全衛生委員会の主な活動	15
安全衛生委員会組織体制	15
安全パトロール・アオイネオン安全大会	16
特集:CSRと事業活動	17-18



社会の要請に 応え続けられる 「組織の質」

とどまることなく繰り返される不祥事の報道に企業の倫理観が問われています。残念ながら、多くの企業において提供する製品・サービスに対する責任が感じられません。求められる策の一つは企業統治(コーポレート・ガバナンス)でしょう。企業統治の前提である内部統制が欠落しているから不祥事が発生するのであり、経営者の理念、姿勢を監視する必要があります。本来は株主としての監視の仕組みですが、社会が要請するものと一致するのではないかと思います。

一連の不祥事報道を他山の石として、弊社では社会の要請に応え続けていくことのできる「組織の質」を高めてまいります。企業はその本業自体に大きな社会的責任を担っています。自社の製品・サービスをもう一度見つめ直しその社会的責任を理解すること、全従業員が自分の課題として認識できるようになることが必須です。

この組織の質を高めるために実行していく内部統制は管理ではなく支援だと考えます。言われやる、規則だから守る、そういう思考ではなく社員一人一人の心の中から自然に湧き出る意識の集結されたものが「組織の質」を構築するベースになります。

経営者としてこの意識醸成を支援しながら、2006年度は国際的な品質マネジメントシステムであるISO9001の認証取得に取り組みました。「製品の質」に加え「顧客満足」を重要視し、事業活動を通じて社会的課題に解決策を提供できる企業を目標とします。

このたび「CSRレポート2007」を発行し私たちが行った様々な活動を掲載いたしました。まだまだ未熟なものとは存じますが、皆様のご指摘やご指導を頂ければ幸いです。

代表取締役社長

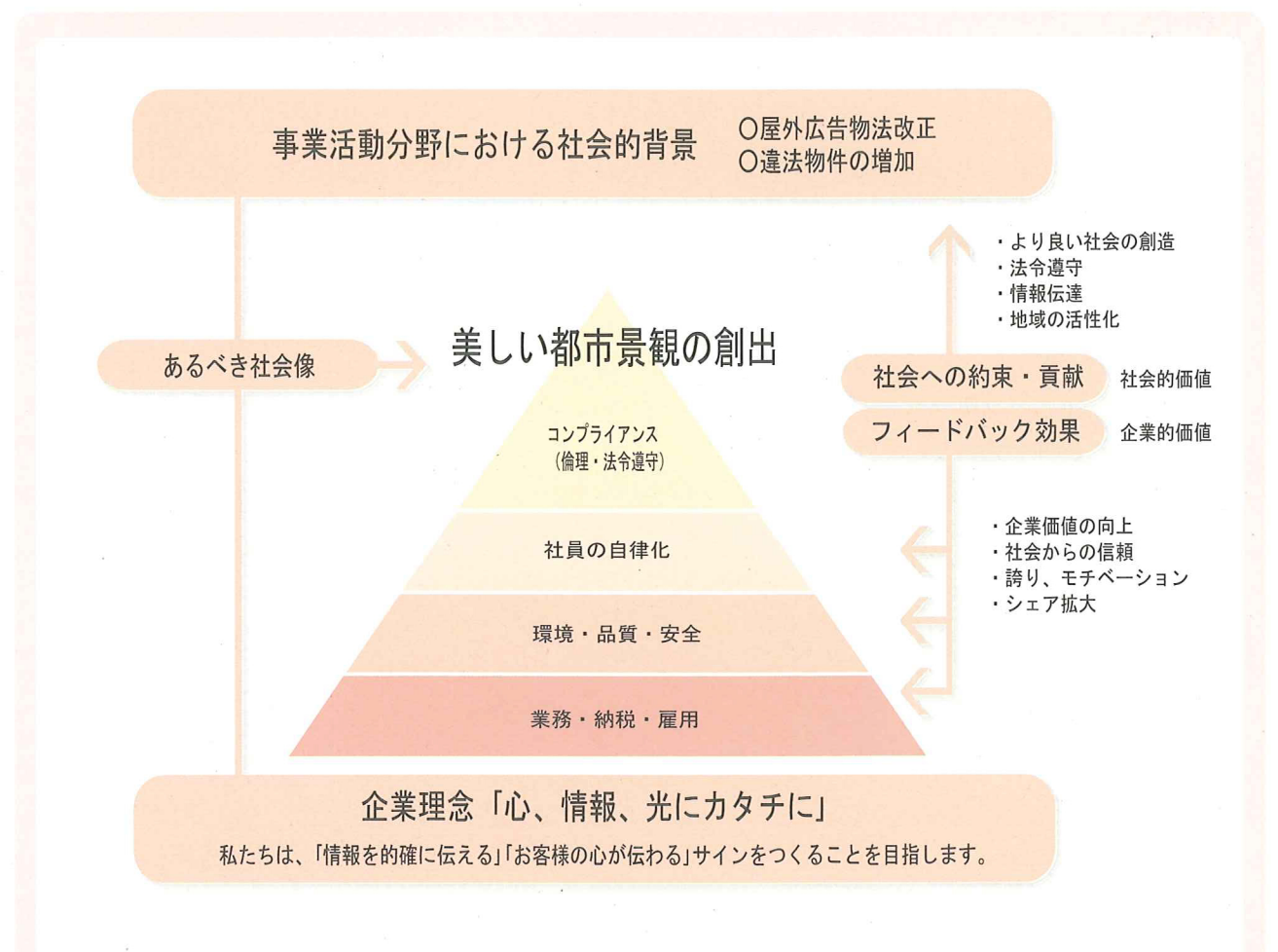
横山 巖

アオイネオン企業理念

私たちが考えるサインの第一目的は「情報を的確に伝える」ということです。そのうえで「広告主様の心が伝わるサイン」をつくることを目標としています。私たちは、お客様の「心」、「情報」をメーカーとして「光」、「カタチ」にしていきます。ギリシャ語のNEOS(新しい)から命名されたネオンの名の下に新たな価値創造にチャレンジし、環境問題やコンプライアンスなどへも積極的に取り組み、社会との共生・調和を念頭に、お客様をはじめとする全てのステークホルダーの皆様の満足と信頼を得られる企業を目指しています。

アオイネオンのCSR

アオイネオンのCSR活動領域及び企業理念と目指すべき姿との関係を以下の図に表しました。



当社では、2004年8月にCSR委員会を社内を設置しました。企業理念に基づき「美しい都市景観の創出」の実現に向けて、CSR活動の核となるコンプライアンス(倫理法令遵守)体制の構築に着手し、役員・従業員の一人ひとりが企業市民として社会的良識をもって行動するための基本となるコンプライアンス方針及び行動規範を制定しました。「美しい都市景観の創出」は、アオイネオンの経営理念より導き出された事業活動分野における「あるべき社会像」とすると同時に、屋外広告物法改正や違法物件の増加などの背景から社会が求めている姿でもあります。

CSR活動により当社は、社会的価値である、より良い社会創造・法令遵守・情報伝達・地域の活性化を約束し、社会から支持される「価値ある企業」を目指します。

コンプライアンスを中心に据えたCSR経営を実践します。

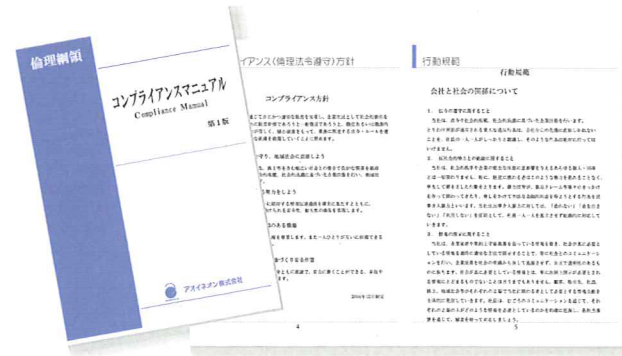
コンプライアンスとは、法令や社内ルールへの順守のことであり、製品の安全や個人情報の保護、公正な取引、就労、などに関わる法律だけでなく、就業規則や経理手続きなど、社内で決めたルールも含まれます。コンプライアンスの実践には、役員・従業員一人ひとりがコンプライアンス意識を深めることが大切です。

当社では、お客様、お取引先、株主をはじめ社会のすべての人から信頼されるようコンプライアンスの徹底に向けた取り組みを行っています。

社員一人ひとりに対するコンプライアンスの徹底

当社では2005年に「コンプライアンス方針」を制定し公正かつ適切な経営を実現し、企業市民として社会的責任を果たすことに取り組んできました。

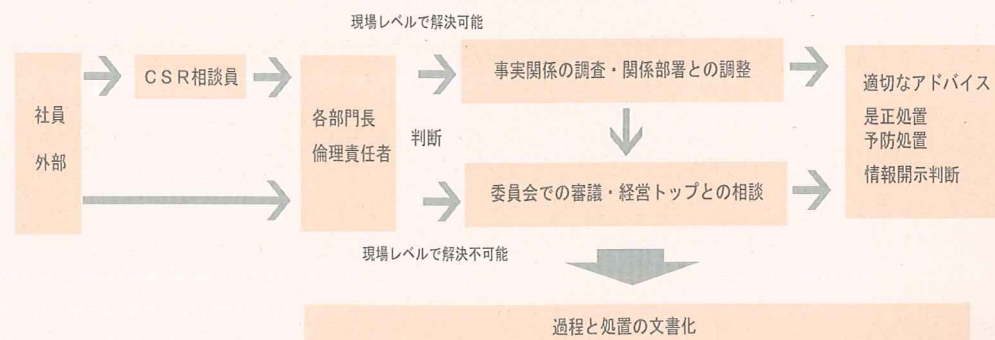
また、コンプライアンスの徹底には、一人ひとりが、自らの行動をコンプライアンスの観点から確認して、業務に取り組む必要があります。CSR委員会を中心に論議を重ね、行動規範を定めた「倫理綱領」を作成し全従業員に配布するとともに教育を実施し、CSR経営の重要性と、その土台となるコンプライアンス意識の浸透を図りました。



報告、相談への対応

倫理責任者、各部門長は、適宜、社員からの相談に応じ、適切なアドバイスを与える。また、倫理綱領や各種法令遵守から逸脱する行為があるとの報告を受けた場合、以下により対応する。

〈対応手順〉



コンプライアンス方針（倫理・法令順守）

当社は企業活動を通じて公正かつ適切な経営を実現し、企業市民として社会的責任を果たします。そのために経営幹部であろうと一般職員であろうと、職位あるいは職務内容にかかわらずみな平等しく、誠心誠意をもって、業務に関連する法令・ルールを遵守し、より一層倫理的な組織を構築していくことに努めます。

〈コンプライアンス方針〉

1. 法令・ルールを守り、地域社会に貢献しよう

私たちは顧客、取引先、株主等を含む幅広い社会との健全で良好な関係を維持するとともに法令や社会的規範、社会的良識に基づいた企業活動を行い、地域社会発展の一翼を担います。

2. お客様に喜ばれる努力をしよう

私たちはお客様がサインに期待する情報伝達機能を確実に果たすとともに、お客様が安心して掲出を続けられる安全性、耐久性の確保を実現します。

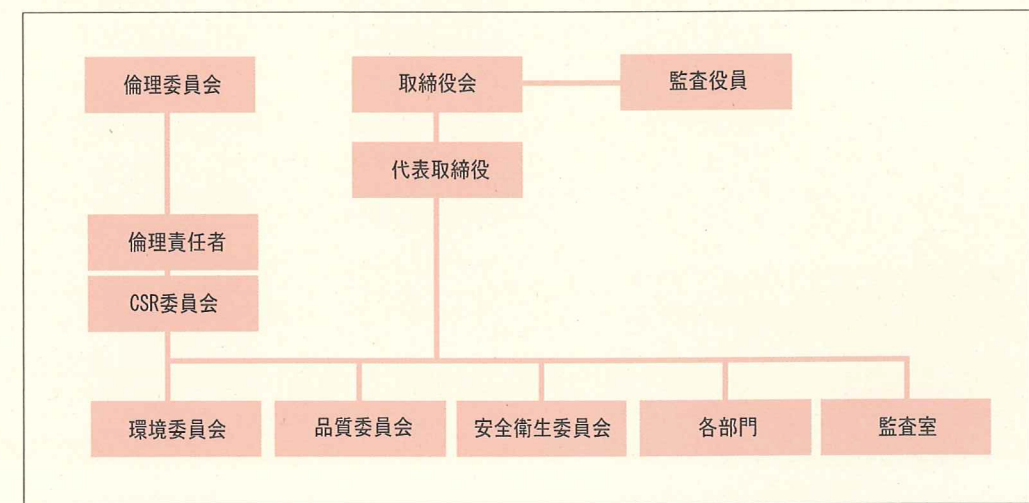
3. みんなで創ろう笑顔のある職場

私たちはすべての人々の人権を尊重します。また一人ひとりが互いに信頼できる健全な職場環境をつくりまします。

4. 一人ひとりの心がけ健康づくり安全作業

私たちは社員一人ひとりが心身ともに健康で、安全に働くことができる、事故や災害のない職場づくりを目指します。

〈社内体制〉



- 1、コンプライアンス委員会（倫理委員会）：倫理法令遵守に関する全社の方針の作成、マネジメントシステムの見直しなどを行う。事務局はCSR委員会内に置く。
- 2、コンプライアンス責任者（倫理責任者）：倫理方針の推進に取り組む最高責任者。
- 3、CSR委員会：コンプライアンス委員会の事務局を務め、倫理法令遵守に関する日常的な業務を行う。たとえば、方針の管理と改訂作業、状況に応じた計画の見直し、報告相談業務、社外とのコミュニケーション、実施状況の把握と報告。

社会貢献活動を通じ 地域との協働に取り組みます。

企業が消費者や社会から信頼される存在になるためには、ステークホルダーとのコミュニケーションは欠かすことができません。社会との協働により社会的な問題の解決や目的を実現するため、企業市民の意識を持って様々な活動に取り組んでいきます。

■ 東京都平成19年度 違法広告物共同除却活動への参加

東京都が実施している違法広告物の除却活動に参加しました。本年は東京本社より大田区での活動に協力させていただきました。



10月11日 JR蒲田駅周辺



10月19日 石川台駅周辺

■ 大阪市・路上違反簡易広告物撤去活動「かたづけ・たい」への参加



6月20日 難波高島屋北前

大阪支店では大阪屋外広告美術協同組合が主催する「かたづけ・たい」に参加しました。路上の違反簡易広告物（貼紙等）の撤去作業を実施しました。

■ 平成19年度『小さな親切運動』への参加



11月3日 「小さな親切運動」

毎年、「小さな親切運動」に参加しています。本年は静岡市で開催される『国際アビリンピック』の応援クリーン作戦に静岡本社から参加しました。



INTERVIEW



東京本社 営業部
主任 石垣竜介

まちづくりの視点からサイン・看板を見ることが出来ました。

「違法広告物の撤去活動のボランティア」に参加をしました。同業の方をはじめ、商店街・町内会の方や所轄の警察署の方も参加しておりました。改めてそのような視点で街を歩くと、違法看板の多さが目につきました。サイン・看板は生活上でなくてはならないものですが、それによって景観を壊したり、通行人の害になったりしてはならないものです。住みよいまちづくりの一環としてのサイン・看板であることを忘れてならないと思いました。

INTERVIEW



静岡本社 営業部
杉山浩二郎

「街をきれいに」社会貢献への第一歩

私は学生時代、ボランティア活動等をしたことがありませんでした。入社後、お客様から「小さな親切運動」のことを聞き、何度か参加させていただくなかで自分の中に環境美化への意識が芽生えてきました。自分が住んでいる街がきれいになるのは、やはりうれしいものです。ボランティアは誰でも、少しの時間があればできるものです。今後、一人でも多くの人が参加し、会社全体に社会貢献の意識が広がってほしいと思います。

■ 『チーム・マイナス6%』への参加

2007年1月より、地球温暖化防止の国民的プロジェクト「チーム・マイナス6%」に参加しています。「CO2削減/ライトダウンキャンペーン」に協力し、6月24日20時~22時の2時間 拠点のライトアップ施設に対し電気を一斉に消す「ブラックイルミネーション2007」に参加しました。



※環境への具体的な取り組みにつきましては環境保全活動の項で取り上げています。

環境保全活動は 私たちの大切な使命です。

今日の社会生活において私たちに課せられた最も重要なテーマのひとつは次世代そして遠い未来に向けて美しい地球環境を守り引き継いでいく事です。アオイネオンでは各事業所、各部門が目標を立て環境保全活動に取り組んでいます。

■ アオイネオンの環境方針

アオイネオンは2001年に「環境問題改善プロジェクト」をスタートさせ、「アオイネオン環境方針」のもと環境保全活動に着手しました。また2003年には国際環境規格ISO14001を全工場で認証取得するなど、事業活動に伴い発生する様々な環境負荷の低減に向けた取り組みを進めてきました。

現在は2005年に改訂された「全ての事業決定において環境に配慮する」という新たな方針のもとさらに積極的な取り組みを進めていきます。

アオイネオン環境方針

当社は屋内外における情報伝達メディアであるサインの製作にあたり、すべての事業決定において地球環境への配慮を実現し、社会的責任を果たすことを目指します。

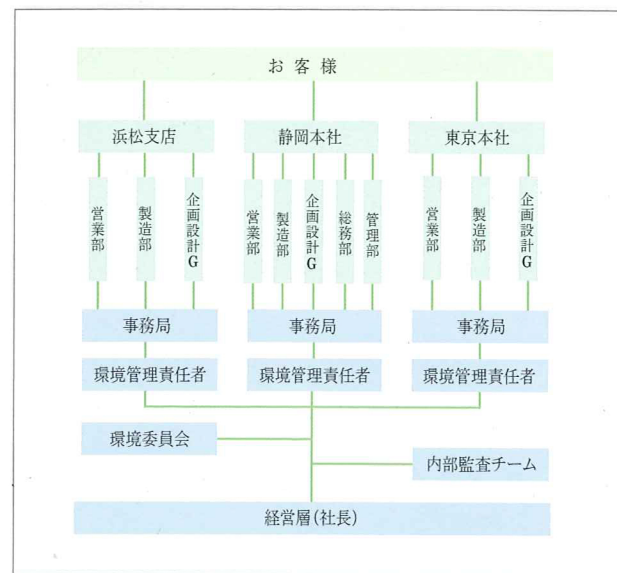
そのために環境マネジメントシステムを継続的に改善し、汚染の予防と環境パフォーマンスの向上に努めます。また、環境関連法令、その他の要求事項を遵守し、地域社会との強調に努めます。

特に下記項目を環境目的として取り組んでまいります。

1. 資源・エネルギーの節減
2. グリーン購入の推進
3. 産業廃棄物の削減

この方針は組織のために働くすべての人に周知し、広く一般に開示します。

■ 組織体制

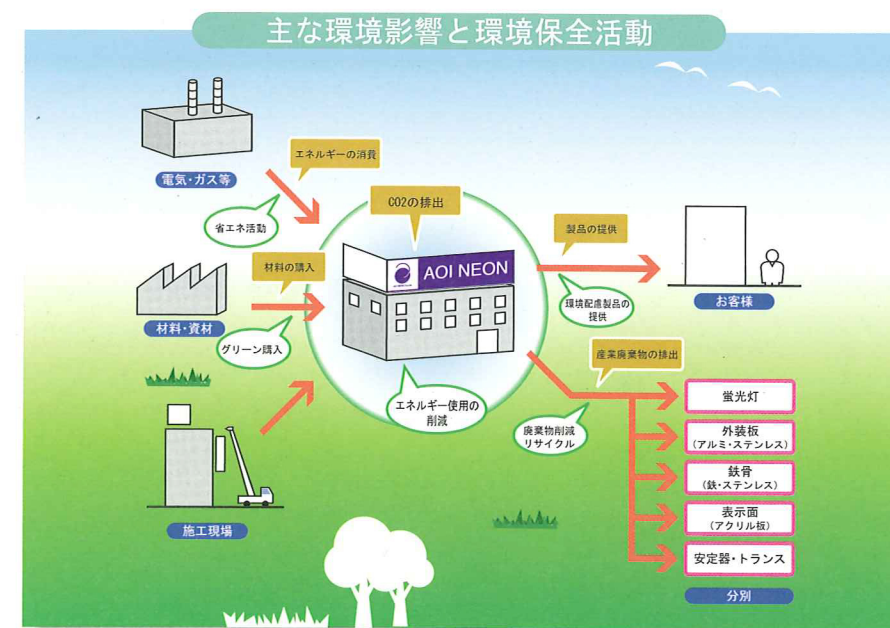


■ ISO14001認証 (東京・静岡・浜松)

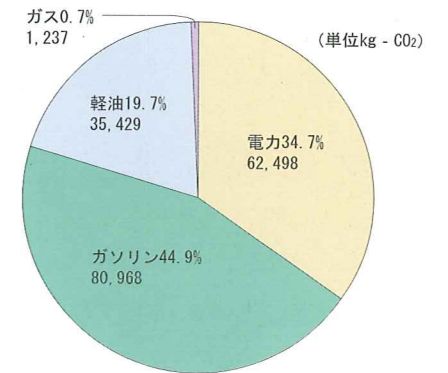


■ 環境保全活動

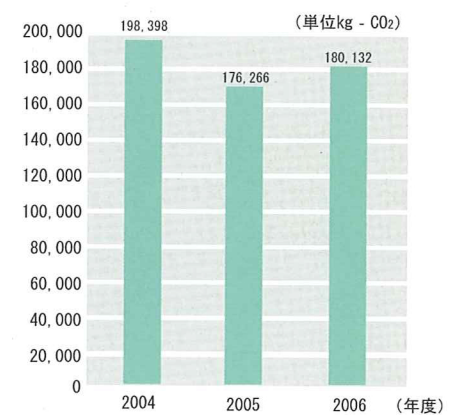
製品を製造しお客様に提供するまでに、資源やエネルギーの消費、産業廃棄物の発生やCO₂の大気への排出など環境に負荷を与えています。私たちは事業活動にともなう環境への負荷を正しく認識し、持続可能な地球環境のために省エネ・省資源、廃棄物削減などの環境保全活動を推進していきます。



CO₂排出量のエネルギー別内訳 (2006年度)



CO₂排出量推移



INTERVIEW



東京本社 環境管理責任者
三島一男

少しずつでも着実に前進していきたい。

年々深刻な問題となっている地球温暖化防止への取り組みとしてCO₂の削減を活動の柱としています。事業活動における省エネルギー、省資源の目標を全員参加で達成します。私たちの出来ることは世界規模で見れば、わずかなものですが、地道に活動を続けることで社会に貢献したいと思います。

2006年度 環境目標に対する実績

対象期間：2006年8月1日～2007年7月31日
対象サイト：静岡本社、東京本社、浜松支店

静岡本社

項目	基準年	目標値	実績値	評価	
産業廃棄物削減	産業廃棄物処分量 原単位2%削減 (産廃処分量/工事売上高100万円)	2005	0.082 m ³	0.108 m ³	×
資源・エネルギー 使用量の削減	事業所内電気使用量 前年比1%削減 (電気使用量/労働時間)	2005	0.976 kwh	0.932 kwh	◎
	エコドライブによる車両燃費 前年比1%向上 (車両走行距離/燃料消費量)	2005	9.92 km/l	10.09 km/l	◎
グリーン購入の推進	実績評価品目の選定及び購入推進 ・2005年度評価品目「ロングライフ蛍光灯」	2005	82.1 %	79.90 %	◎
法規制の遵守	環境法規制への対応		100%	100%	◎

東京本社

項目	基準年	目標値	実績値	評価	
産業廃棄物削減	産業廃棄物処分量 原単位2%削減 (産廃処分量/改装工事売上高100万円)	2005	0.13 m ³	0.1 m ³	◎
資源・エネルギー 使用量の削減	2005年度事業所内電気使用量を維持する (電気使用量/労働時間)	2005	1.4 kwh	1.23 kwh	◎
	エコドライブによる車両燃費 前年比1%向上 (車両走行距離/燃料消費量)	2005	10.2 km/l	10.0 km/l	×
グリーン購入の推進	実績評価品目の選定及び購入推進 ・2005年度評価品目「ロングライフ蛍光灯」	2005	50.0 %	46.5 %	×
法規制の遵守	環境法規制への対応		100%	100%	◎

浜松支店

項目	基準年	目標値	実績値	評価	
産業廃棄物削減	産業廃棄物処分量 原単位2%削減 (産廃処分量/改装工事売上高100万円)	2005	0.279 m ³	0.436 m ³	×
資源・エネルギー 使用量の削減	エコドライブによる車両燃費 前年比1%向上 (車両走行距離/燃料消費量)	2005	9.25 km/l	9.52 km/l	◎
グリーン購入の推進	実績評価品目の選定及び購入推進 ・2005年度評価品目「ロングライフ蛍光灯」	2005	50.0 %	63.2 %	◎
法規制の遵守	環境法規制への対応		100%	100%	◎

2006年度 環境会計報告

アオイネオンでは環境会計を、環境経営の定量的指標のものさしとして捉え、2001年度から集計をはじめました。当社の環境会計はまだ発展途上であり、保全コスト効果の把握・集計にとどまっていますが、指標化・活性化を図り、環境経営に役立てています。

環境保全コスト

2006年度の環境保全コストは投資 321,172円、費用 3,959,420円合わせて4,280,592円を投入しました。

分類(注1)	投資額(注2)	費用(注3)	事例
地球環境保全、公害防止コスト	250,000	660,632	浄化槽点検清掃、作業環境測定他
資源循環コスト	0	2,905,888	廃棄物処理委託、省資源
管理活動コスト	71,172	277,900	環境教育、廃棄物管理、保管庫、書籍他
社会活動コスト	0	115,000	地域貢献
環境損傷対応コスト	0	0	なし
合計	321,172	3,959,420	

(注1) 環境省「環境会計ガイドライン」における環境保全コストの分類

(注2) 投資額とは環境保全を目的とした設備投資

(注3) 費用には環境保全活動に費やした維持運営費等が含まれます。

対象期間：2006年8月1日～2007年7月31日
対象サイト：静岡本社、東京本社、浜松支店
参考書：環境省環境会計ガイドライン他

環境保全効果

効果についてはコストの投入により前年度より環境負荷がどれだけ改善されたかを捉えています。事業所内における使用電気量に関しては42819kwhの削減を達成しました。残念ながら産業廃棄物に関しては57.35m³の増加、燃料消費量の削減に関しては14535ℓの増加となり、経済効果としては-1,735,127円となりました。

内容	削減効果				経済効果	
	※1 2005年度	※2 2006年度	削減量	単位	内容	金額(円)
産業廃棄物の削減	133.49	190.84	-57.35	m ³	分別による削減	-573,500
事業所内使用電気量の削減	99677	142496	42819	kwh	節電による削減	727,923
燃料消費量の削減	33837	48372	-14535	ℓ	エコドライブによる削減	-1,889,550

※1 2006年度事業実績に換算した値
※2 2006年度実績

安全性と耐久性 信頼される製品づくりの原点

多くのステークホルダーの満足を獲得し、当社の企業価値の向上を図っていくためには、当社が提供する製品やサービスの品質、性能の向上、適切な保守管理等を行っていくことが必須の条件であると考えています。品質保証を基本とする品質マネジメントシステムの国際規格であるISO9001を足がかりとし、競争力のある強い企業になるために目標に向かって邁進できる体制構築に注力しています。

■ アオイネオンの品質方針

アオイネオン品質方針

『アオイネオン株式会社の経営理念』
心、情報、光にカタチに

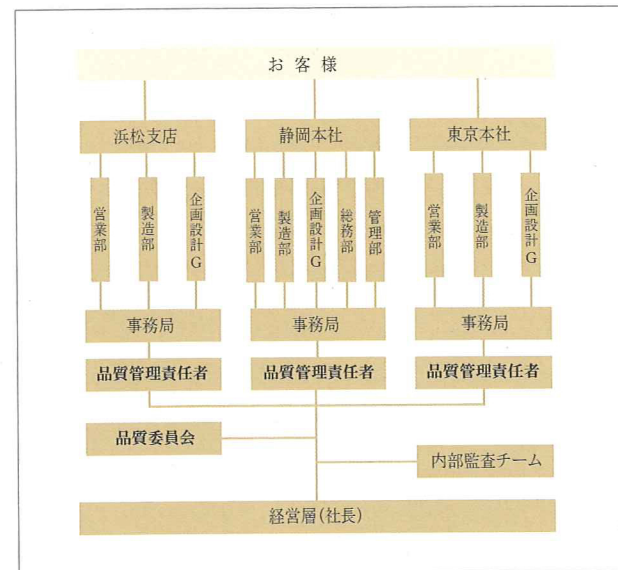
1. お客様がサインに期待する情報伝達機能を確実に果たします。
2. お客様が安心して掲出を続けられる安全性、耐久性を確保します。

私たちは「製品の品質」に加え「顧客満足」を重要視した「組織の質」の向上を実現するために、絶えず改善を続けます。

品質目標

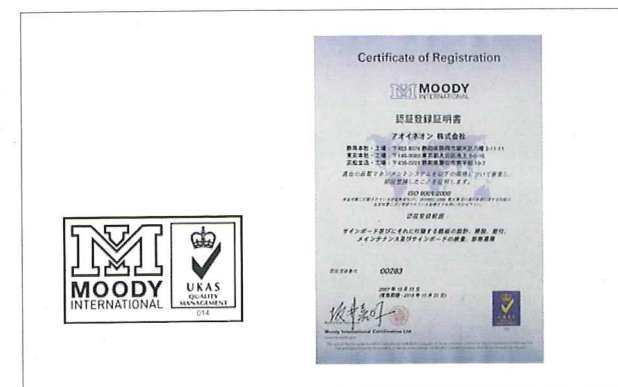
1. お客様満足度の向上
2. 高品質の製品づくり
3. 安全性と耐久性の確保
4. シェアの拡大

■ 組織体制



■ ISO9001認証 (東京・静岡・浜松)

当社は、2007年10月23日に全工場でのISO9001の認証を取得しました。



製品の品質保証にあたって、
検査の果たす役割の重要性は言うまでもありません。

製品検査

製造過程での検査と品質管理を行います。
構造のチェックから性能の確認、外観検査などを徹底し、
問題があれば、設計との連携で原因の究明にあたります。



施工検査

施工中間及び完了後に設計図の通りに施工されているか、
照明設備などが正常に作動するか、目立つキズ、歪みなど
が無いかなどを確認します。



お客様に安心して末永くご使用頂くために
定期点検やアフターメンテナンスも大切に考えています。

メンテナンス

お客様を末永くサポートしていきたい。
私たちは、お引渡しした後のお客様とのお付き合いを大切に
考えています。不都合を感じる点がございましたら何なりと
お知らせ下さい。



INTERVIEW



静岡本社 製造部
部長 永野昌也

「一つひとつの作業を大切に」安心、安全をご提供します。

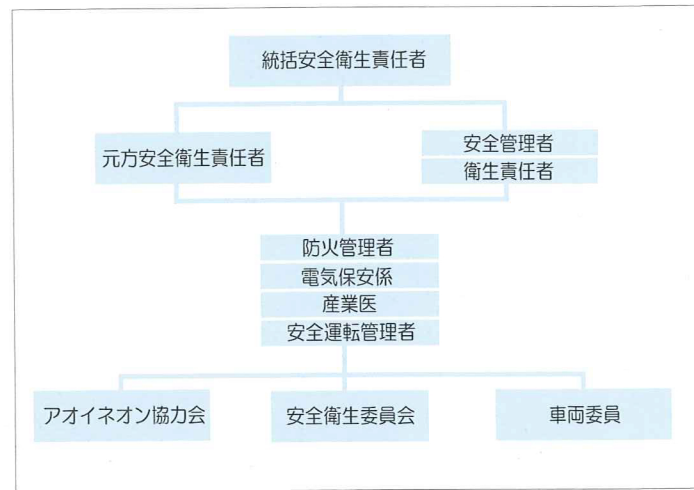
製品はいくつものプロセスを経てお客様に納入されますが、製造
工程においては安心、安全そして、お客様に喜ばれる製品の提供を
目指しています。各工程での検査を徹底し、不具合があれば原因の
追究及び、改善を実施します。設置現場でも現場環境に配慮して作
業方法を選定し、作業に取り組んでいます。

一つ一つの作業を大切に、検査、確認を確実にやっていくことで、
より良い製品をご提供します。

安心して働ける環境づくり

人の安全と健康は何事にも代える事の出来ない価値です。特に、厳しい環境下にある建設現場等の職場を擁する当社にとって、安全で健康的な職場環境の確保は、大きな社会的責任であると考えています。当社は災害ゼロを目指して、安全確保に向けた組織的な取り組みを進めています。

■ 安全衛生委員会 組織体制



■ 安全衛生委員会の主な活動

安全衛生委員会	毎月1回
安全パトロール	毎月1回
KYミーティング	現場作業開始前
産業医工場巡視	毎月1回
アオイネオン協力会	年1回

INTERVIEW



浜松支店 製造部
主任 山下活実

安全で安心な作業環境の実現

事故や災害の原因の一つである不安全行動は、作業員一人ひとりの自覚によって防ぐことができます。また、過去の作業の中でのヒヤリ・ハットを教訓として全社で共有し、事故を未然に防ぐことが重要です。

従業員や協力業者が安心して働ける作業環境を実現することは社会的責任を果たすだけでなく生産性向上にもつながると考えています。

安全パトロール (浜松支店)

月に一度、作業現場の安全パトロールを実施しています。現場での法令順守、安全対策等を委員が確認します。パトロールで不安全行動を指摘し、今後の安全対策に役立てます。



▲作業開始前のミーティングで危険予知



▲作業場所の安全対策を確認

平成19年度 アオイネオン協力会合同安全大会

平成19年7月6日静岡にて、各事業所合同での安全大会を開催しました。45社の協力会員の皆様に参加いただき、安全宣言を行いました。又、特別講師として栄養士の大橋いつ乃先生に健康講話をお願いしました。



▲特別講師 大橋いつ乃先生
「時代とともに変わる健康法」

INTERVIEW



浜松支店 営業部
山本正嗣

「笑顔のある職場」ユーモアで心も健康に

最近、メンタルヘルスという言葉をよく耳にします。体だけでなく、「心」が原因で病に倒れる人が増えている様です。緊張の糸を張り詰めるのは決して悪いことではありませんが、適度に緊張をほぐすことも大切だと思います。自分の健康と、生命を守る意味でも、職場のユーモアは欠かすことができません。冗談を言いあえる雰囲気をつくっておくことも必要です。

検査・診断で本当の「安心」 重大事故を未然に防ぎます。

老朽化による看板落下等の事故を防ぐ為に、最新の検査システムによる看板の検査と診断に取り組む「看板ドクター」について。



開発室室長
一級建築士 梶原謙治



執行役員
静岡本部長 益谷 健

外観からは想像できない
内部鉄骨の腐食もあります。

— 当初、「人間ドック」をイメージして検査システム開発に取り組んだとのことですが、そのきっかけは？

益谷 屋外に設置されている看板は、長い間風雨に晒されます。外装板や支柱など目で見て分かる汚れや錆びもあれば、外観からは想像できない内部鉄骨の腐食もあります。お客様が気付かない所で深刻な劣化が進み、強風時や台風時、地震時に落下や倒壊などの重大事故につながる恐れがあります。

「人間ドック」と同じように、外からは分からない部分の状態を検査で的確に把握し、お客様に報告、必要な処置をご提案したいと考えました。又、なるべくお客様の負担を減らし、短時間で検査出来る様検査機器を選定、活用しております。

— どのような検査機器を使いますか。

益谷 外装板や表示面を取り外したり、大型の重機を使用したりという方法は、費用の面、時間的な面でもお客様に大きな負担をお掛けします。「看板ドクター」では、内視ビデオ付き診断スコープを使用しわずかな隙間から看板内部の状況を把握出来ます。撮影した画像は、診断結果と一緒にお客様にご提出します。又、「アンカードクター」は当社で研究、開発、試験を重ねて特許を取得したアンカーボルトの引抜き耐力試験です。

看板鉄骨の腐食状況



屋上広告塔下端鉄骨



袖看板ブラケット鉄骨



袖看板内部鉄骨



ポール看板ブラケット

カメラスコープ



ライトスコープ



内視鏡カメラにより撮影された腐食状況



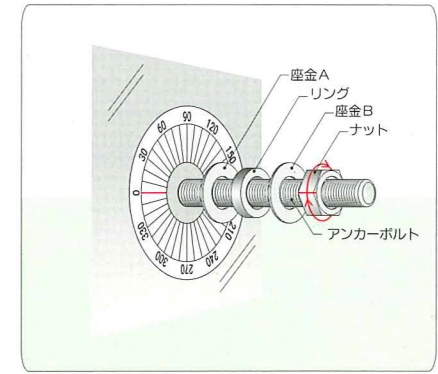
袖看板内部鉄骨



ブラケット内部鉄骨

— 「アンカードクター」の特徴とメリットは？

梶原 アンカードクターの特徴は応力の大きさを計測するために、塑性変形という物質の性質を利用したことです。塑性変形は弾性変形と違い非線形なので、従来、それを測定に利用するという発想がありませんでしたが、その変形量が大きいというところに着目しました。又、測定精度を明確にするため、回帰分析という統計解析手法を採用しました。アンカードクターの利点は看板を外さずにアンカーボルトの引抜き耐力を確認できるという点です。



「アンカードクター」
特許第3779722号

法令チェックも組み込み、社会からの要請
に応える事業活動。

— 診断項目の最初に法令に関するチェック項目がありますがなぜですか？

益谷 社会のCSRに対する意識が高まっています。屋外広告物法の改正により各自治体の条例が見直され、サインに対するコンプライアンスが注目されています。これは、無登録業者や違法広告物が氾濫している現状を映し出していますが、お客様自身が所有する看板が違法であることに気付いていない場合もあります。私共はプロとして関連する法令を洗い出し、遵法での改修方法をご提案する義務があると考えています。

— 今後、CSR対応を意識した開発室の活動は？

梶原 先ず、製品の安全性に関する提案をしたいと思っています。地震、強風や火災に対して安全であることは勿論、それらの被害の予防対策まで検討する必要があると思います。又、省資源のため、リサイクル、耐久性の向上やエネルギー使用の効率化なども外せない項目です。その他、看板が犯罪防止に貢献できると良いなと思っています。

看板が道路上に突き出ていませんか？

突出看板の場合、敷地内から突き出る場合は「道路占用許可申請」の届出が必要です。
(屋上看板の場合は、壁面より突き出ること自体がNG！)
他に、設置する高さの制限もあります。(道路法第32条)より

看板の高さは大丈夫ですか？

看板の高さが4mを超えた場合は「工作物確認申請」による構造の審査が必要です。(建築基準法第88条)より

看板の色合い・大きさは大丈夫ですか？

都道府県で定められた「屋外広告物条例」・「都市景観条例」によって、届出が必要な場合があります。地域によっては、色合い・大きさなどが制限されます。

防火地域の規制をご存知ですか？

防火地域内にある看板、広告等で、建築物の屋上に設けるもの、又は高さ3mを超えるものは、主要部分を不燃材料で造るか、又は不燃材料で覆わなければなりません。(建築基準法第66条)より

※該当する法令の一部を掲載しています。

心、情報、光にカタチに

<http://www.aoineon.com>



アオイネオン株式会社

一級建築士事務所 特定建設業許可（国土交通大臣）

ISO14001:2004（東京・静岡・浜松） ISO9001:2000（東京・静岡・浜松）認証取得

CORPORATE SOCIAL RESPONSIBILITY
ETHICS COMPLIANCE
SAFETY HEALTH
ENVIRONMENT
QUALITY

発行日/2007年12月20日

R100
全従業員100%参加を促しています